



Japan Society for Tobacco Control

日本禁煙学会

<http://www.jstc.or.jp/> E-mail desk@nosmoke55.jp
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201
Tel 03-5360-8233 FAX 03-5360-6736

平成 29 年 5 月 24 日

総理大臣 安倍晋三様

厚生労働大臣 塩崎恭久様

自民党政調会長 茂木敏充様

自民党厚労部会長 渡嘉敷奈緒美様

自民党受動喫煙防止議連会長 山東昭子様

一般社団法人 日本禁煙学会理事長 作田 学

屋内全面禁煙（厚生労働省原案）を要望します

記

去る5月15日、自由民主党の厚生労働部会にて大西英男議員が発した言葉に対しては、多くの国民やマスメディアが厳しく批判を繰り返しています¹⁾²⁾³⁾。謝罪と弁明はされたものの、発言の撤回はされておらず、また御党から発言の撤回を促す様子もなく、今回の発言の背景には一個人のみならず御党全体として、受動喫煙の害を軽んじる風潮があるものと思わざるを得ません。

たとえ受動喫煙が嫌でも、諸事情により受動喫煙がある職場で働かざるを得ない従業員は大勢いるのです。また、受動喫煙を嫌と思わない従業員でも、健康被害がなくなるわけではありません。ひとたび健康被害が生じれば、多大な社会的損失が発生するのです。

喘息など呼吸器疾患・アレルギー疾患を持つ患者、がん患者、病弱者、妊婦、子供などすべての人が受動喫煙の危害から守られる法整備こそが必要不可欠なのです。

日本人の喫煙率は18.2%（平成27年）であり、1万人を超える意識調査でも、飲食店従業員の65.4%が厚生労働省の原案に賛成しており、反対は17.6%に過ぎませんでした⁴⁾。

すでに多くの患者団体も声明を発表しておりますが、日本禁煙学会も患者団体の心情を十分理解するとともに「飲食店での喫煙を容認する」対案を撤回し「原則屋内全面禁煙」とする厚生労働省の原案に賛同することを強く求めます。

以上

<参考資料>

1) がん患者たばこヤジ

大西議員、謝罪するも発言撤回せず

<https://mainichi.jp/articles/20170523/k00/00m/040/046000c>

2) がん患者「働かなければいいんだ」 大西議員が発言謝罪

http://www.asahi.com/articles/ASK5Q4JHQB5QULBJ00K.html?iref=com_rnavi_srank

3) 自民“魔の2回生”失言 「がん患者働かなくていい」の大西英男衆院議員 「マスコミ懲らしめる」「巫女さんのくせに」に次いで3度目の謝罪

<http://www.sankei.com/politics/news/170522/pl1705220050-n1.html>

4) 「川俣幹雄教授プレスリリース 17/3/24 飲食業従事者も65.4%が厚労省原案に賛成」

http://www.jstc.or.jp/modules/information/index.php?content_id=100